

学びをつなぐ授業づくり (舞ラーニング城南 ver.)

～主体的・対話的で深い学びの創造を目指して～

単元全体や1時間の授業の流れを、学び手としての児童生徒を主体に、ユニバーサルデザインの視点で構想します。

ベル着・ベル準・気持ちのそろったあいさつ <授業での約束ごと>



出会う・見通す

- ・ 意欲の向上
- ・ 学習の流れの提示

課題設定

- ・ 考える必然性や活用を意識した課題の設定
- ・ 主体的に学びを深め合う学習を行うためのめあてづくりと工夫しためあての設定

自力思考

- ・ 既習事項を根拠に見通しを持ち、筋道立てた思考場面の設定
- ・ 思考を整理し、表出するため書く活動を重視（ノート、ワークシート、タブレットなど）
- ※ 個々の思考を把握し、粘り強く取り組む意欲を支援する
- ※ 考えを説明するために必要な教材を工夫する
- ※ 小中9年間で系統的に書き方の技能を育成する
- ※ タブレット等 ICT 機器を場面に応じて活用する

学び合い



- ・ 根拠や理由を明らかにし、筋道立てて説明する活動の重視
- ・ 話し合う課題を明確にしたペア学習・グループ学習・全体学習の工夫
- ・ 個々の思考を活かし、理解を深める発問や切り返しの工夫
- ・ 深い学びのための学習活動
- ・ お互いの考えを共有することで、自分の考えを振り返らせる工夫
- ・ 思考をつなぎ深める板書の工夫
- ※ 小中9年間で系統的に話し合いの技能を育成する

まとめ・確かめ

- ・ 身に付けさせたい力の明確化と課題とまとめのつながり
- ・ 本時または単元の学びを確かなものにする練習問題・課題解決の説明等の設定

振り返り

- ・ 解決の過程を振り返ったり、新たな気づきを整理し、書きまとめたりする活動の重視

あじさい

あ…新たに分かったこと じ…次回(生活)に活かしたいこと
さ…さらに知りたいこと い…いいなと思った友達への考え

※振り返りの参考にしてください。児童生徒の実態や授業の内容に応じて変えてもよいです。